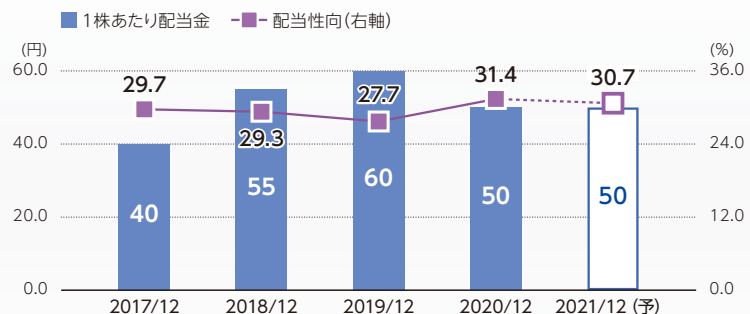


株主の皆様への利益還元について

弊社は、株主の皆様への利益配分について、研究開発投資、生産体制強化、新事業開拓等の将来の企業成長に必要な内部留保資金を確保しつつ、収益状況に応じて柔軟に行うことを基本方針としております。

当期の期末配当は、前期末配当金の1株当たり60円に対し10円減配の50円となります。



※2017年3月18日付で1:1,000の株式分割、及び同年10月13日付で1:3の株式分割を実施。
 ※2017/12期以前の1株当たり配当金は上記株式分割を反映し、遡求修正して表記。

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 3月中
 株主名簿管理人 日本証券代行株式会社
 特別口座管理機関 日本証券代行株式会社
 同事務取扱場所 日本証券代行株式会社 本店
 公告方法 電子公告により行います。
 ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載します。
 なお、電子公告は弊社ホームページに記載しており、そのアドレスは以下の通りです。
<http://www.optorun.co.jp/>

ホームページのご案内



株式会社オプトラ
 【東京オフィス(本社)】
 東京都豊島区西池袋1-11-1
 メトロポリタンプラザビル11階
 TEL: 03-6635-9487
 FAX: 03-6635-9497

【川越技術センター】
 埼玉県川越市竹野10-1
 TEL: 049-239-3381
 FAX: 049-239-3394



第22期 株主通信

2020年1月1日～2020年12月31日

スマートフォンからIoT・5Gへ

株式会社オプトラ

証券コード：6235

社長メッセージ

2020年は、種々の新たな成膜技術開発完了成果の時期。
2021年以降の受注本格化への準備は整いました。

代表取締役社長執行役員 林 為平

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済活動が抑制され、厳しい状況となりました。中国においてはいち早く経済活動を再開し、景気は緩やかに回復している一方、欧米では新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響で経済活動は抑制され、依然として経済の先行きは不透明な状況が続いております。

弊社グループは、このような状況のもとで、ここ数年間のスマートフォン・IoT関連等の最終製品の顕著な機能アップのための、種々の新たな成膜技術開発の完了見通しをつけ、優秀人材の追加的採用も強化し、新型装置の市場へのリリースを積極化すると共に、マーケティングを本格化し、新たな受注獲得へのステップを踏み出しました。また、顧客の近くに開発・生産・販売拠点を持つ強みを生かし、感染拡大防止に配慮した対面での営業活動やリモートによる営業活動等の多様な営業活動を積極的に展開し、出荷した装置の早期検収に努めました。また、市場環境の変化に対処すべく原価改善や経費削減など図りましたが、売上高・利益は減収減益となりました。

分野別では、スマートフォンではカメラ複眼化、筐体への加飾、カメラ部分への新たな成膜等の成膜需要、カメラレンズでは監視カメラやIRカットフィルタの成膜需要、IoTでは、車載パネルへの成膜や半導体ウェハへの成膜、医療機器へのパネルやレンズへの成膜、スマートウォッチ等のウェアラブル端末への成膜、AR/VR機器への成膜、光通信機器向けの成膜等、幅広

い分野の売上高を計上いたしました。

受注においては、設備投資は全般的に慎重であったものの、北米及び東アジアのスマートフォン関連メーカーからの受注を獲得し、5G関連の光通信向け・自動車・半導体・医療関連等のIoT関連やLED向け成膜装置の受注は好調に推移いたしました。

注目すべき新たな受注として、ここ数年取り組んできた新型装置開発の内、ALD装置は複数台の受注獲得に成功し、2021年以降の新たな成膜技術の展開につながる実績をあげました。その他新型装置も今後の市場への供給を準備しており、2020年は受注につなげる準備期間として充実した研究開発成果を挙げました。

その結果、売上高は37,491百万円(前年同期比12.4%減)、営業利益は8,628百万円(前年同期比20.7%減)、経常利益は8,609百万円(前年同期比21.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は6,796百万円(前年同期比25.3%減)となりました。

なお、弊社は世界的な脱炭素社会・SDGs・ESG投資基準等の社会の要請に対応し、環境・社会に配慮した開発・生産活動を目指し、信頼される会社として、社会的責任を果たして行くことを会社の重要な目標の一つとしております。

株主の皆様には、引き続き弊社グループへのご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。

戦略について

新光学薄膜 + 新成膜技術の研究開発を結実させ、
業界有力メーカーとして技術開発の新たなステージを開拓し、
高級成膜技術の応用分野拡大を目指す。

■ 主な事業戦略

研究開発連携の強化	本社・上海・台湾の研究開発連携をより一層強化し、新型装置開発を加速させ、2021年度売上高・受注高に占める新型装置比率向上を目指す。また、引き続き、大学との共同開発を進め、新技術分野への展開も加速させる。
収益性の維持・向上	引き続き、製造現場にて原価削減や販管費削減を徹底する。
マーケティング/ 新規市場調査の強化	業界のリーダーとして市場の拡大に注力する。北米・中国等の新規顧客マーケティング活動を強化し、高機能スマートフォン/自動車/5G/IoT/LED向けの成膜技術を反映したスパッタ装置・蒸着装置を着実に受注する。
顧客満足度向上	新成膜技術や多種の新型装置のリリースに対応し、品質管理体制を強化する。

■ 中長期的な課題

積極的なM&A/ 投資	中長期的な課題として、M&Aや投資により、グループ事業規模拡大を目指す。ROICや資本コストを意識し、将来的に弊社事業拡大・利益率向上につながり、技術シナジーがある企業を選別し、新技術取り込みを加速させる。
----------------	---

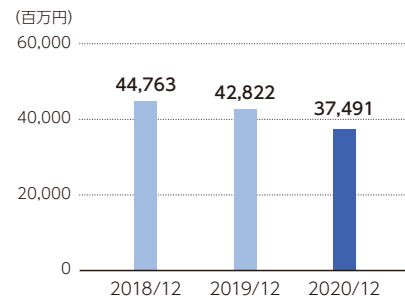
■ サステナブルな社会に向けた取り組み

IR/広報活動の強化	ESG(環境・社会・企業統治)/SDGs(持続可能な開発目標)達成等の社会的要請に対応し、「信頼できる企業」となるための情報開示を積極的に進める。
------------	---

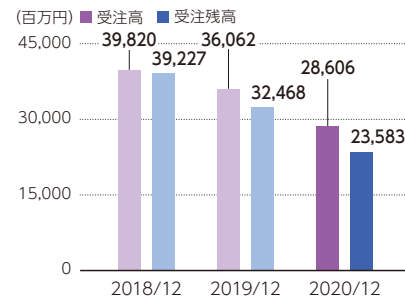
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

連結財務ハイライト

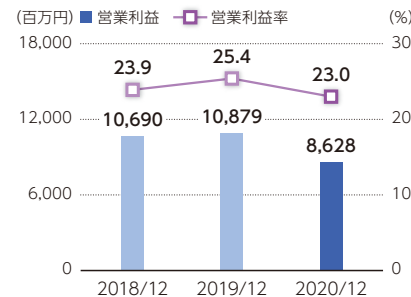
売上高



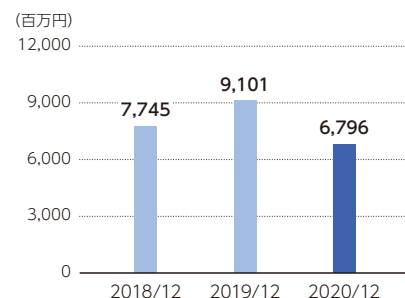
受注高／受注残高



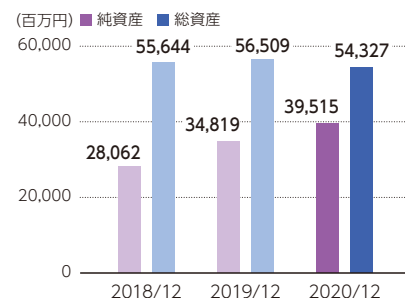
営業利益／営業利益率



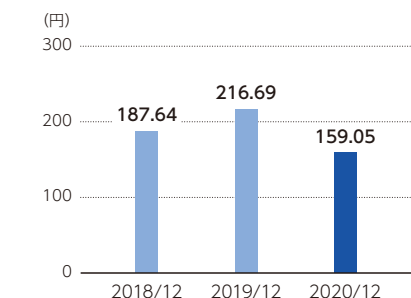
親会社株主に帰属する当期純利益



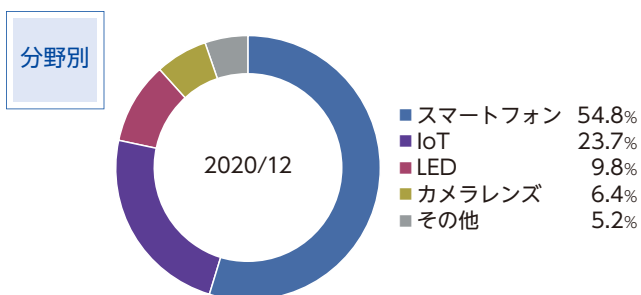
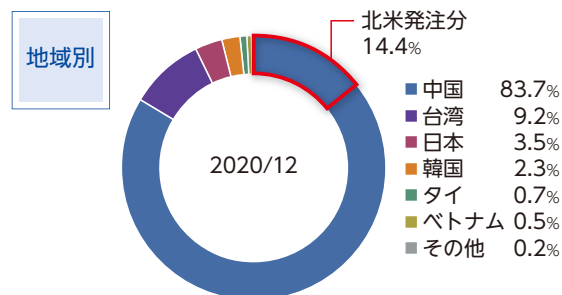
純資産／総資産



一株当たり当期純利益



地域別・分野別の売上構成比



要約連結財務諸表

貸借対照表

	2019/12	2020/12
資産の部		
流動資産	47,193	44,571
固定資産	9,315	9,755
有形固定資産	2,763	3,193
無形固定資産	65	821
投資その他の資産	6,486	5,739
資産合計	56,509	54,327
負債の部		
流動負債	19,825	13,654
固定負債	1,864	1,157
負債合計	21,689	14,811
純資産の部		
株主資本	35,586	40,181
資本金	400	400
資本剰余金	9,513	9,819
利益剰余金	25,801	30,053
自己株式	△ 128	△ 91
その他の包括利益累計額	△ 767	△ 692
非支配株主持分	-	26
純資産合計	34,819	39,515
負債純資産合計	56,509	54,327

損益計算書

	2019/12	2020/12
売上高	42,822	37,491
売上原価	25,125	22,809
売上総利益	17,696	14,681
販売費及び一般管理費	6,817	6,053
営業利益	10,879	8,628
営業外収益	299	261
営業外費用	147	279
経常利益	11,031	8,609
特別利益	458	69
特別損失	2	1
税金等調整前当期純利益	11,487	8,677
法人税、住民税及び事業税	1,720	2,101
法人税等調整額	665	△ 228
当期純利益	9,101	6,804
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△ 0	7
親会社株主に帰属する当期純利益	9,101	6,796

キャッシュ・フロー計算書

	2019/12	2020/12
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,232	△ 535
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,431	△ 1,047
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,358	△ 2,466
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 213	△ 197
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	11,229	△ 4,247
現金及び現金同等物の期首残高	15,740	26,969
現金及び現金同等物の期末残高	26,969	22,722

株式情報

(2020年12月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 177,432,000株
 発行済株式総数 44,358,000株
 株主数 13,512名

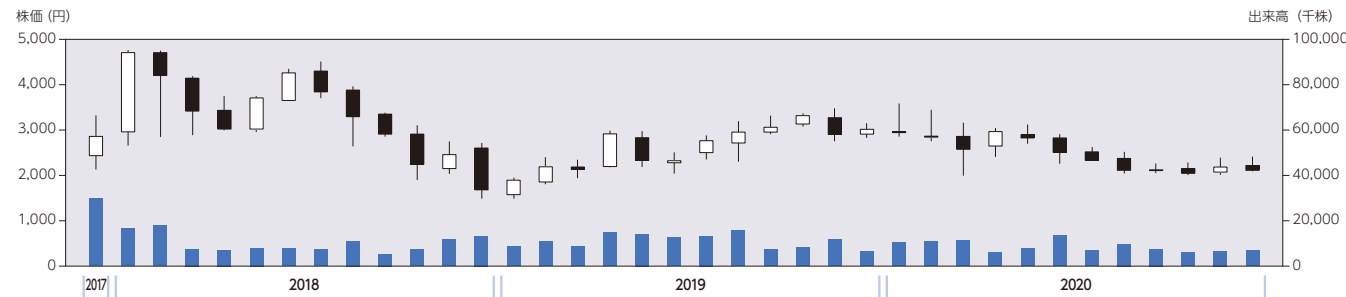
大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
浙江水晶光电科技股份有限公司	6,507	15.14
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,004	9.32
株式会社アルバック	3,038	7.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,980	6.94
孫 大雄	2,494	5.80
JSR株式会社	2,310	5.38
林 為平	728	1.69
肖 連豊	648	1.51
FANG HSING PAN	518	1.21
株式会社サングローバル	442	1.03

(注) 1. 弊社は、自己株式を1,386千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株価・出来高の推移(月足)

※2017年12月20日株式上市



会社情報

(2020年12月31日現在)

会社概要

会社名 株式会社 オプトラン
 (OPTORUN Co.,Ltd.)
 住所 【東京オフィス(本社)】
 東京都豊島区西池袋1-11-1
 メトロポリタンプラザビル11階
 【川越技術センター】
 埼玉県川越市竹野10-1
 設立 1999年8月25日
 資本金 400百万円
 事業内容 光学薄膜装置等の製造販売

マネジメント体制(2021年3月24日現在)

名誉会長	孫 大雄	監査役	
上級顧問	高橋 俊典	常勤監査役	小林 信一
取締役		監査役	佐々田博信*
代表取締役	林 為平	監査役	片山 律*
取締役	範 寛	執行役員	
取締役	山田 満男	社長執行役員	林 為平
取締役	林 敏*	専務執行役員	範 寛
取締役	樋口 武*	常務執行役員	奚 建政
取締役	山崎 直子*	常務執行役員	小田木秀幸
		執行役員	山田 満男

*は社外

主なグループ会社

